

平成20年度一般会計決算

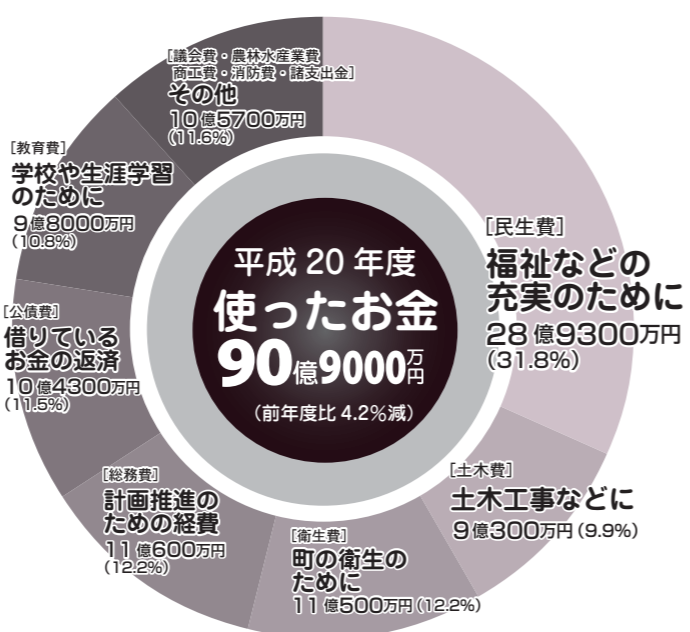
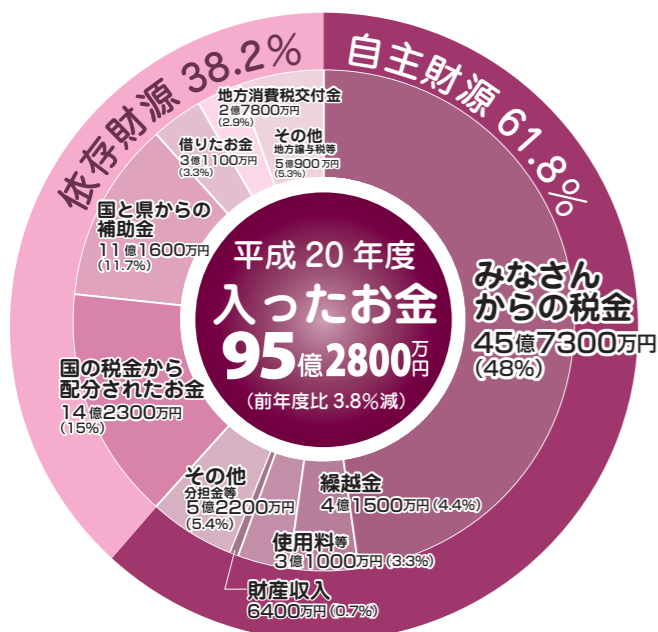
入ったお金の構成を見ると…
自主財源と依存財源の比率は、ほぼ前年度と同レベルを保っていますが、国の進める地方制度改革や景気の動向によっては、交付税や税収の動向が大きく左右されることになるため、予断を許さない状況にあると言えます。

使ったお金を性質別に見ると…

投資的経費 9% ※公共施設や道路整備など、将来に残るもののために使われる経費

義務的経費 45% ※人件費や扶助費など、支出が義務づけられていて、自由に削減できない経費

その他経費 46% ※積立金や物件費、維持補修費など、義務的経費、投資的経費以外の経費



財政力は？ 自立性は？ 借金は？

一目瞭然！町の財政状況

一般会計決算の特徴① 歳入歳出とも、前年度総額より減少

景気悪化等の影響もあり、歳入合計が前年度比 3.8%の減少。歳出も前年度比 4.2%の減少となりました。

一般会計決算の特徴② 普通建設事業費が減り、扶助費が増額

町営住宅建設事業が一段落したことから 35.8%の減額となった一方、こども医療費増加等、社会福祉関連に対する支出が前年度比 3.6%増加しました。

一般会計決算の特徴③ 人件費の削減傾向続く

義務的経費全体では、扶助費や公債費の伸びにより 0.1%の減にとどまったものの、職員数が減ったこと等により、人件費は前年度比 3.8%減となりました。

過去5年間の財政力の推移は…

財政力の強さを計る指標である「財政力指数」は、普通交付税の算定上、基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合をあらわし、数値が高いほど財政力が強いことを示しています。寄居町の数値は年々微増傾向で、平成20年度もわずかながら上がりました。また過去5年間、県内の町村平均よりも良好な数値を保っています。

